

令和3年度 洛中小学校の教育目標と教育構想

<学校教育目標> 夢に向かって挑戦し、粘り強く頑張る子の育成

～豊かに学び、未来にはばたく～

<小中一貫教育目標>～よんきゅう絆プロジェクト～

未来を拓き、しなやかに生きる子どもの育成

<めざす子ども像>

- ・ 広く正しく，共に学ぶ子…研究委員会を中心に
- ・ やさしく美しく，共に進む子…人権教育委員会・生徒指導委員会を中心に
- ・ 元気にたくましく，共に励む子…健康安全委員会を中心に

<めざす教職員像>

- ・ 一人一人の子どもを徹底的に大切にし，温かく支える教職員
- ・ チームとして協働し，互いに高め合う教職員
- ・ 子ども・保護者・地域の願いを実現するために努力する教職員

<めざす学校像>

笑顔いっぱい やさしさいっぱいの学校

《学校経営方針と具体的な取組》

*全ての子どもに学力と人間関係力をつける。

- 授業研究を柱とした学校…学習規律の徹底と学習集団作り。授業改善を積極的に行う。
- チームとして協働的に取り組む…PDCAサイクルを活用し、不易流行を見極めて取り組む。
- 子どもの姿を語り合う…子どもの成長と課題を常に共通理解し、大切にしたいことを共有する。

1. 「確かな学力」の育成

*授業で子どもを育てる

- ☆「もっとも指導の届きにくい子に届く授業は、全ての子の学力を向上させる。」という考えに立ち、「焦点化児童」を設定し、授業を改善する。

☆授業改善の方向

- ・わかる授業・考える授業⇒京都市スタンダードを活用し、指導と評価の一体化を図る
- ・みんなで学ぶ楽しさを実感できる授業⇒主体的・対話的な学び 算数化を中心とした研究推進
- ・指導すべきは指導しきる⇒基礎的基本的な知識・技能の習得。

*主体的な学びのプロセスを定着させる家庭学習の定着⇒自学自習の習慣化。授業との連動。

*各種テストでの実態をふまえた取組⇒見える学力・見えない学力の両方を意識し育てる。

*問題解決的な学習と探究活動の充実⇒つけたい力を意識した総合的な学習

2. 「豊かな心」の育成

*どの子も安心して過ごせる学級経営⇒「子どもの行動の裏には何らかの原因や理由がある」と考え、決めつけた指導はしない。子どもの声に耳を傾ける。いじめ・不登校対策委員会の実働。

*児童会活動・縦割り活動を充実し、優しさを引き出し褒めて自己有用感を高める。

*挨拶と清掃活動の徹底⇒子どもは大人のしていることを見て育つ。大人がいい見本に。

*道徳教育の充実⇒特別の教科 道徳ではねらいとする道徳的価値を明確にした授業実践を積み重ねる。体験活動や他教科と関連をもたせる。

*多様性を理解する姿勢の涵養⇒人権教育を基盤とした違いを認め合える関係づくり

*地域を愛する子どもの育成

3. 「健やかな体」の育成

*体育科授業や遊びを通した体力向上

*「早寝・早起き・朝ごはん」など望ましい生活習慣の確立⇒見えない学力につながる

*食育を推進し、子どもが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるようにする。

*自らの身を守ることができる子を育てるための避難訓練の充実と地域ぐるみの学校安全を推進する。

*さまざまな体験活動、スポーツ、部活動などを通して規範意識と社会性を身に付ける。

育てたい資質・能力

課題解決力・コミュニケーション力